主な出来事を写真で振り返る

2025年の観光業界は、大阪・関西万博の開催や、「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産候補への選定など、さまざまな動きがあった。取材で捉えた写真と共に１年間を振り返る。

大阪・関西万博 184日間の会期に幕

△8月27日、「西のゴールデンルートアライアンス」が万博会場内にブースを開設（９月８日付）

△4月1日、万博に合わせ大阪デスティネーションキャンペーンが開始（４月７日付）

提供・公益財団法人2025年日本国際博覧会協会、大林組、撮影・伸和

△万博会場で展示されたサイエンス社の「ミライ人間洗濯機」（４月14日付）

△7月19日、万博で福島県が単独出展。内堀雅雄知事が旬の桃を振る舞う様子も（７月28日付）

◁全旅連青年部主催の第４回「宿観光旅博覧会（宿フェス）」が9月20日、初めて万博会場内で開かれた（9月29日付）

▷EXPOはミャクミャク（上）からトゥンクトゥンクへ引き継がれた

ツーリズムEXPO 初の愛知開催

△▷ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸が9月25～28日、愛知県常滑市で開かれた（10月6日付）。地元中部9県の共同ブースも（写真下）

各温泉地での行事も盛んに

△温泉の恵みに感謝する群馬県・草津温泉の感謝祭（８月１～２日、写真上）、温泉地のさらなる発展などを願う岐阜県・下呂温泉の「温泉感謝祭」（同３日）が開かれた（８月11日付）

△愛媛県・道後温泉で10月10日、アートプロジェクト「蜷川実花　ｗｉｔｈ　ＥｉＭ　×　道後温泉　ＤＯＧＯ　ＡＲＴ」が始まった（10月27日付）

△全旅連は６月17日、東京都内で第103回全国大会を開いた（６月23日付）

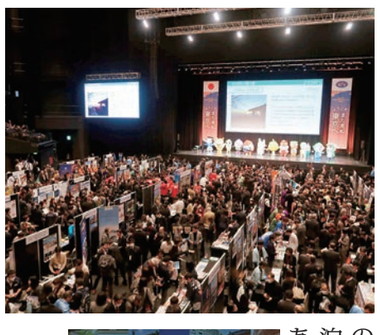
◁日本旅館協会は9月4日、石川県金沢市内で「宿泊業界における観光と金融に関する全国懇談会」を開いた（9月15日付）

2025年の主な出来事

前半（1～6月）

■営業施設数は5万軒
厚生労働省によると、2023年度末現在の旅館・ホテル営業施設数は5万1038軒で、前年度から717軒増加した。19年度をピークに減少していたが、4年ぶりに増加した。客室数は177万6994室で、同6242室増加した。

■ANTAが恒例のフォーラム
全国旅行業協会（ANTA）は1月28日、東京都の観光振興と国内観光の活性化を図るイベント「第19回国内観光活性化フォーラムin東京」を東京ガーデンシアター（東京都江東区）で開いた。約2500人に東京観光の魅力をアピールした。



■「宿フェス」に3万人来場
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（全旅連）青年部主催の第3回「宿観光旅博覧会（宿フェス）」が2月5、6日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開かれ、2日間で延べ3万1千人が来場した。

■議員連盟の新会長に菅氏
「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産への登録を目指す自民、公明両党の国会議員で構成される議員連盟の総会が3月7日、衆議院第二議員会館（東京都千代田区）で開かれ、新会長に現顧問で元首相の菅義偉氏（自民党副総裁）の就任を決めた。

■東武トップ旅ホ連・連観連10年
東武トップツアーズ協定旅館ホテル連盟（旅ホ連）と同社協定運輸観光施設連盟（運観連）は3月17日、東京都内で本部通常総会を開催。会社も含め、10周年の節目を迎えた。

■大阪・関西万博が開幕
「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマにした大阪・関西万博が4月13日、人工島・夢洲（大阪市此花区）で開幕した。日本での開催は05年の愛知万博以来で、20年ぶり。

■全旅連JKK会長に山田氏
全旅連女性経営者の会（JKK）は4月17日、25年度総会を東京の全旅連会議室で開き、任期満了に伴う役員改選で新会長に副会長の山田佐知氏（兵庫県・ほてるISAGO神戸）を決めた。

■JATF新会長は井上氏
日本観光施設協会（JATF）は5月8日、東京のチサンホテル浜松町で定時総会を開き、新会長に井上喜昭副会長（埼玉県・万寿庵）を選出した。

■「ミライのリョカン」を提言
日本旅館協会は5月、冊子「私たちが創るミライのリョカン」を作成した。22年度から2年間活動した協会の「未来ビジョン委員会」による、「宿泊業に携わる全ての人にとって夢のある未来の構築」に向けた提言書。

■「豊臣兄弟！」協議会が発足
26年のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」の主舞台となる奈良県。奈良観光をアピールする絶好のチャンスと捉え、県と県内の自治体などは観光推進協議会を5月29日に立ち上げた。

■浅野氏が施設協会会長に
国際観光施設協会は6月16日、東京都千代田区のホテルメトロポリタンエドモントで通常総会を開催。任期満了に伴う役員改選で、会長を10年間務めた鈴木裕会長が退任し、浅野一行副会長（スターツ総合研究所理事）が新会長に就任した。

■ANTA会長に近藤氏
全国旅行業協会（ANTA）は6月25日、第61回定時総会を東京都千代田区の都市センターホテルで開いた。議事の後には任期満了に伴う役員選任が行われ、30年以上にわたって会長職を務めた二階俊博氏に代わり、近藤幸二副会長が新たな会長として就任することが決定した。

■「オール山代」に向け総会
山代温泉観光協会は6月24日、同温泉のゆのくに天祥で25年度の通常総会を開いた。開湯1300年にあたって「オール山代」体制で各種事業を推進。「次の100年のスタートの第1歩を踏み出す年にする」などの事業案を承認した。

■日旅の新社長に吉田常務
日本旅行の社長に吉田圭吾代表取締役常務が就任した。6月27日に開催した取締役会で正式決定。小谷野悦光前社長は取締役会長に。

■観光庁長官に村田氏
国交省の7月1日付の幹部人事で秡川直也観光庁長官が退任し、後任に国土交通大臣官房長の村田茂樹氏が就任した。

カメラが捉えた2025年の観光業界

ONSEN
blessing of Japan, nature, culture

「温泉文化」ユネスコ2030年登録へ

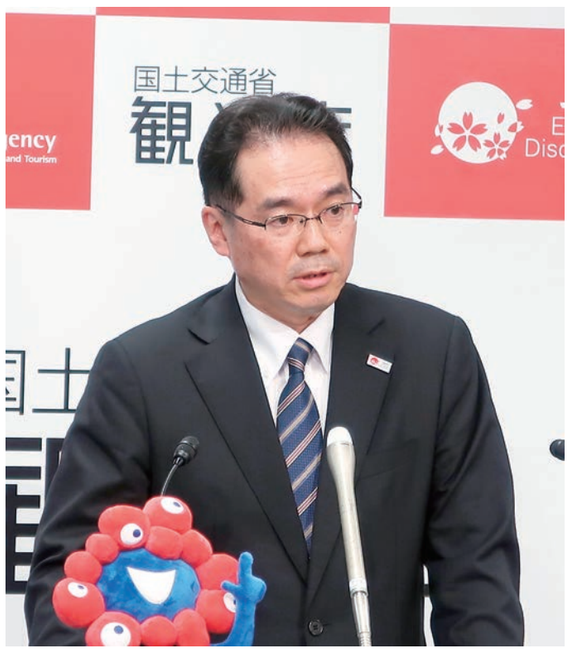
▷4月15日、「『温泉文化』ユネスコ無形文化遺産全国推進協議会」が総会。協議会、議員連盟、知事の会のメンバーが一堂に（4月21日付）

◁議員連盟、知事の会、全国推進協議会が6月30日、官邸を訪問し、石破茂前首相に2028年最短でのユネスコ登録を要望した（7月7日付）

▽和倉温泉の民間事業者らで組織する「和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会」が、温泉地の復興プラン「和倉温泉創造的復興プラン」を作成し、その公式発表会を3月18日、東京都内で開いた（3月31日付）

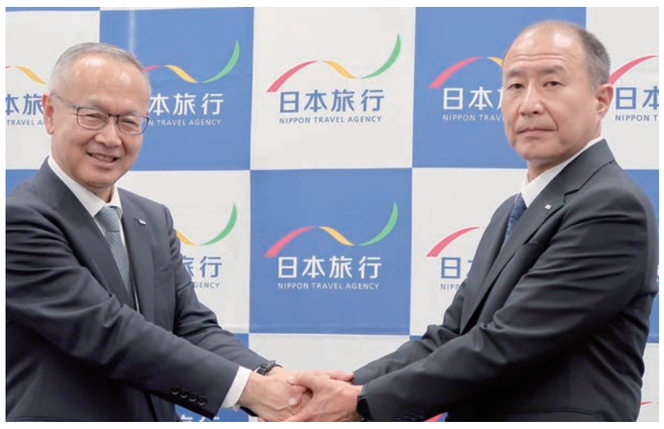
◁JRグループ6社と自治体が協働して実施する大型観光企画「デスティネーションキャンペーン」の27年秋の開催地は滋賀県に（5月26日付）

庁・各団体トップ交代



村田茂樹長官（観光庁）

▷温泉文化の保護や継承を目的とした『温泉文化』国民会議」が7月29日発足。会長に元文化庁長官の青柳正規氏＝中央＝が就任（8月4日付）



▷6月27日、日本旅行の新社長に吉田圭吾代表取締役常務＝写真右＝が就任した（5月31日付）

▽全国旅行業協会は8月21日、6月の定時総会をもって名誉会長に就任した二階俊博の功績を感謝する「感謝の集い」を東京都内で開いた（8月31日付）

◁日本航空（JAL）で客室乗務員を務めた経験を持つ旅館と料亭の女将の有志が「JAL　OG女将会」を立ち上げた（6月23日付）

薩山秀一氏
（日本ホテル協会会長）

近藤幸二氏
（全国旅行業協会会長、写真左から2番目）

井上喜昭氏
（日本観光施設協会会長、写真右）

浅野一行氏
（国際観光施設協会会長）

▷来年のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」の主舞台となる奈良県と県内の自治体などが観光推進協議会を立ち上げた（6月9日付）

▷北但大震災復興100年記念プロジェクト実行委員会は5月23日、兵庫県豊岡市内で「北但大震災復興100年　城崎温泉まちづくりシンポジウム」を開いた（5月31日付）

後半（7～12月）

■ツアーグランプリ受賞者発表
日本旅行業協会（JATA）は7月2日、「ツアーグランプリ2025」の受賞者・作品を発表した。今回応募のあった147作品から12作品が受賞。うち、最優秀作品に贈られる「国土交通大臣賞」には、風の旅行社（東京都中野区）が受賞した。

■万博で「西のゴールデンルート」をアピール
大阪・関西万博開幕から約3カ月が経過した7月11日、福岡市をはじめ西日本の自治体や民間事業者らで構成する「西のゴールデンルートアライアンス」は、2025年日本国際博覧会協会と万博会場内で共同記者会見を開き、万博を契機とした西日本・九州への誘客促進策を力強くアピールした。

■「温泉文化」国民会議が発足
「温泉文化」の保護や継承を目的とした「『温泉文化』国民会議」が7月29日、発足した。会長には「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産全国推進協議会会長で元文化庁長官、多摩美術大学理事長の青柳正規氏が就いた。

■シルバースター部会長に伊藤氏
全旅連シルバースター部会は7月23日、総代会を東京都千代田区の全旅連会議室で開いた。任期満了に伴う役員改選で、新部会長に副部会長の伊藤隆司氏（奈良県・飛鳥荘）の就任を決めた。

■KNT－CTHDが70周年
KNT－CTホールディングスは9月1日、創立70周年を迎えた。これを記念し3月、新たにロゴを作成したほか、同社のホームページ内に創立70周年記念サイトを開設した。

70th Anniversary 2025
KNT－CTグループ

■金沢市で「金融懇談会」
日本旅館協会は9月4日、石川県金沢市で「宿泊業界における観光と金融に関する全国懇談会」を開いた。「宿泊業が地域経済再生の役割を担っていくために、行政・金融機関・地域社会と連携した持続可能な復興モデルの構築に努める」など4項目からなる「能登地方の復興と地方創生に向けた行動宣言」を採択した。

■万博会場で「宿フェス」開く
全旅連青年部主催の第4回「宿観光旅博覧会（宿フェス）」が9月20日、大阪・関西万博会場内で開かれた。1万8500人が来場。温泉文化サミットを行い、ユネスコの無形文化遺産登録に向け「万博宣言」などを行った。

■EXPO初の愛知開催
〝世界最大級の旅の祭典〟ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸が9月25～28日、愛知県常滑市のAichi Sky Expo（愛知県国際展示場）で開かれた。同県での開催は初で、北陸地方を含む中部9県の共同ブースが出展。4日間で目標の10万人を超す延べ12万6900人（速報値）が来場した。

■万博が閉幕
大阪・夢洲で実施されていた大阪・関西万博が10月13日、閉幕した。開幕からの累計来場者数は、関係者を除く一般来場者が2558万人、関係者を含む入場者数は2900万人。最終日には一部パビリオンでの閉館セレモニーや参加国などによるフラッグパレードが行われた。

■功労者表彰に30氏
厚生労働省と全国生活衛生同業組合中央会は10月24日、ホテルニューオータニ（東京都千代田区）で今年度の「生活衛生功労者表彰式」を開いた。旅館・ホテルからは大臣表彰14人、理事長表彰16人の計30人が受賞した。

■「温泉文化」ユネスコ候補に
国の文化審議会・無形文化遺産部会は11月28日、「温泉文化」を「神楽」とともに国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産への新規提案候補に選定した。ユネスコによる審査の優先順位を神楽、温泉文化の順とし、神楽は28年、温泉文化は30年の審査で登録の可否が決まる見込み。

■カスハラ対策に向けセミナー
日本旅館協会は11月28日、東京の都道府県会館で「カスハラから旅館を守る」と題したセミナーを開いた。宿泊客からの迷惑行為「カスハラ」が近年増加しているとして、その現状と、取るべき対策を専門家が講義した。

■にっぽんの温泉100選を発表
観光経済新聞社主催の第39回「にっぽんの温泉100選」が決定した。1位は23年連続の草津温泉、2位下呂温泉、3位道後温泉。